編集後記

◆ 10月6日午後1時半少し前に，地質相談所の電話が鳴り，大阪府の方から地質の質問を受けておりました．説明をしている最中に，先方の電話の後ろが騒がしくなった気配がし，「地震です」とのこと．しばらくそのまま話していたのですが，背後の騒ぎはもっと大きくなったように感じられ，電話の主が慌てて「ちょっと大きそうなのでまたあとで電話します」といって切れました．急いで近くにあるテレビをつけたところ，鳥取県西部で大きな地震が発生したというテロップが流れました．図らずも発生した瞬間の実況放送を聞かせていただいたようなことになりました．地震地質部の吉岡さんから，その地震断層に関する緊急調査報告を寄せていただきました．

◆ 実は，鳥取県西部地震のわずか5日前，私たちは山陰地質情報展のために島根県松江市におりました．会場のデコレーションとして，天井から下げたバトンに，大判の日本地質図や地層剥ぎ取り標本，各展示を示す案内板等を沢山ぶら下げておりましたので，この地震に遭遇したら大変なことになっていただろうと思いました．一方，地質情報展では，準備の都合でついに活断層に関する展示が間に合わず，それがあったなら，この地震で私たちの展示を思い出してもらえたのになぁと残念な気もしました．

◆ ライマン雑記の著者，副見さんに出した手紙：「ライマン雑記18の原稿を拝読させていただきました．坂市太郎という人は，マシンガンを構えたような方という印象を受けましたが，そんな印象はおかしいでしょうか．私の同級生で，常に緊張感を漂わせて人と接する男がおりました．周りは全て競争相手というような意識だったのかも知れません．そんな生き方で疲れないかなと思ったものでした．今回の原稿を拝読し，その男を思い出しました．」

◆ もう一つの連載，ゴールドシュミットの伝記は，ついに彼との別れの日を迎えてしまいました．脳いっ血によるあっけない別れは，わずか2行で終わっています．そこまで読んだら，編集後記にそれ以上何も書けなくなってしまいました．

◆ 巻頭エッセイの執筆をお願いした山室さんは，当所の数少ない女性研究者の1人で，海洋地質部の所属です．物質循環における生物の役割を解明すべく，シジミやカモを対象に仕事をしておられるという点で，地質調査所のなかでは大変ユニークなアプローチの仕方で環境の研究を進めておられます．つい最近，滋賀県が水環境に関する生態学研究で功績をあげた若手研究者を表彰するために設けた，「生態学琵琶湖賞」を受賞されました．おめでとうございます．

◆ そのほか，本号は東海地方の窯業原料特集の3回目として2件，博物館関連のトピックス2件，サイエンスキャンプ，工業技術院一般公開等のイベント報告，石の俗称シリーズなど，多方面の記事が満載されています．

◆ 秋の深まりが一気に加速したと思ったら，わが家の周りをジョウビタキが飛び回るようになりました．近所の家の屋根の上のTVアンテナ，わが家のイチジクの木の梢，そしてまた別の家のアンテナと，3カ所くらいを飛び交っているように見えます．時にかん高い声で鳴きながら．

(湯浅真人)

地質ニュース編集委員会

委員長：湯浅真人

副委員長：石井武政

委　員：星住英夫・飯笹幸吉・七山　太・佐々木宗建
佐藤興平・大熊茂雄・前川竜男・木下泰正・
中野　司・遠藤祐二

事務局：総務部業務課広報係（河村幸男・渡辺光次）
〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-3
地質調査所 地質ニュース編集委員会
事務局　Tel. 0298-61-3520
Fax. 0298-61-3569

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース　第555号　2000年　11月号
定価¥785(本体価格¥748)　〒実費
2000年11月1日　発行
編　集　**工業技術院地質調査所**
発行人　株式会社　実業公報社
代表者　林　光生
発行所　株式会社　実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8　〒102-0073
Tel. (03)3265-0951(代表)
Fax. (03)3265-0952
振替口座　00110-6-32466
麹町局私書箱第21号
印　刷　株式会社　エアフォルク

© 2000 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターおよびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります．また，最寄りの書店でも注文できます．